



変化を楽しむ人であれ

京都橘大学

# 京都橘大学 コメンテーター一覧

2021年6月版

＜お問い合わせ＞

京都橘大学 広報課

TEL : 075-574-4112(直通)

Eメール : [pub@tachibana-u.ac.jp](mailto:pub@tachibana-u.ac.jp)

# — 目次 —

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| <b>歴史</b>          | <b>P 2</b>  |
| 考古学                | P 2         |
| 日本史                | P 2         |
| <br>               |             |
| <b>経済</b>          | <b>P 3</b>  |
| 医療経済・地域経済・金融       | P 3         |
| 観光ビジネス・国際経済        | P 4         |
| キャリアデザイン・サブカルチャー   | P 5         |
| 経営・企業・都市           | P 6         |
| マネジメント・アントレプレナーシップ | P 7         |
| <br>               |             |
| <b>工学</b>          | <b>P 8</b>  |
| 情報工学               | P 8         |
| 建築                 | P 10        |
| <br>               |             |
| <b>医療</b>          | <b>P 11</b> |
| 看護                 | P 11        |
| 心理                 | P 11        |
| 理学療法               | P 12        |
| 作業療法               | P 13        |
| 救急医学               | P 14        |
| 臨床検査               | P 15        |



## 考古学

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 中久保 辰夫（ナカクボ タツオ） 遺跡発掘で古代の食文化を探究



- ①文学部 歴史遺産学科
- ②准教授
- ③博士（文学）
- ④考古学／日本史、古墳・集落遺跡、発掘調査、土器、古代の暮らし
- ⑤大阪大学大学院修了

近畿エリアを中心に、古墳や集落遺跡の発掘調査を精力的に実施。特に土器の使用痕跡を分析することで、古代の食を復元する研究を行っており、古代の人々の生活や食器文化、食文化に精通している。

＜一言コメント＞

古墳・集落遺跡の発掘調査の成果解説や古代文化・生活・食などについてのコメントが可能です。

## 日本史

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 後藤 敦史（ゴトウ アツシ） 世界史からひも解く日本開国の意義を研究



- ①文学部 歴史学科
- ②准教授
- ③博士（文学）
- ④日本史、日本近代史、幕末史／幕末政治、開国、海防、大阪湾台場
- ⑤大阪大学大学院修了

世界史からみた日本の開国史をテーマに研究。日本の資料と海外の資料を合わせて、その意義を探っている。

2022年からは高校で「歴史総合」の授業が開始予定だが、これは世界と日本の近現代史であり、その先駆けともいえるテーマといえる。

＜一言コメント＞

大阪湾には当時の「台場」の遺構が残っており、これを通じて幕末史のおもしろさを広めたいです。

## 医療経済・地域経済・金融

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 高山 一夫（タカヤマ カズオ） 米国の医療政策を深く研究、日米比較も



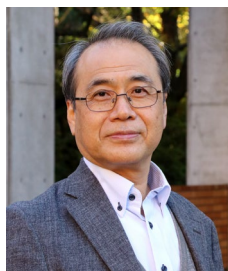
- ①経済学部 経済学科（経済学部長）
- ②教授
- ③博士（経済学）
- ④経済学／**米国の医療政策・医療経済・医療産業**、日米の医療制度比較
- ⑤京都大学大学院修了

米国の医療政策と医療経済、医療産業を、日米比較も念頭に置きながら研究。**特に米国独自の病院業**に関する研究を進めており、**バイデン新政権下における医療政策、社会保障政策への変化**も視野に入れつつ、国内でも医療面から見た現代社会の諸問題を考察。

<一言コメント>

コロナ禍で注目される医療施設の経営や課題、医療政策、社会保障政策などについてコメントできます。

### 岡田 知弘（オカダ トモヒロ） 地域経済研究のエキスパート



- ①経済学部 経済学科（地域連携センター長）
- ②教授
- ③経済学博士
- ④地域経済学／**地域開発・地域づくり、地域内経済循環**
- ⑤京都大学大学院修了

**地域経済や地域づくりの研究を40年行っているエキスパート。**  
 地域経済・社会を形成する**中小企業、農家、地方自治体の再投資力と地域内経済循環をつくること**で、**地域づくりや災害復興が進むこと**を明らかにしている。

<一言コメント>

災害復興やコロナ禍における政策対応などについて、委託研究や講演なども多く行っています。

### 矢口 満（ヤグチ ミツル） メガバンク・グループで30年金融調査に携わったプロ



- ①経済学部 経済学科
- ②教授（証券アナリスト、国際公認投資アナリスト）
- ③学士（経済学）
- ④国際金融論、ファイナンス／**サステナブル・ファイナンス、グリーンボンド、欧州の金融・経済**
- ⑤京都大学卒業

2021年春までメガバンク・グループで金融調査業務に携わってきた。中でも欧州通貨統合や欧州中央銀行に強く、最近ではEUが**世界的に先行しているサステナブル・ファイナンス**を探究中。

<一言コメント>

**ドイツ駐在経験もあり、欧州の金融や経済事情に精通**していますので、的確な解説が可能です。  
 またこれまでのキャリアを踏まえ、**メガバンクの本音を「内部の眼」で説明**することもできます。

## 観光ビジネス・国際経済

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 金武 創（カネタケ ハジメ） “保護”から“活用”に変化しつつある芸術文化資源



- ①経済学部 経済学科
- ②教授
- ③博士（経済学）
- ④文化経済学／文化遺産観光、文化政策
- ⑤京都大学大学院修了

日本の文化庁が、文化財保護から、芸術文化資源活用を目指す**文化政策へ転換**してきている点に注目し研究。

文化遺産を中心とする**京都観光**について、**駅から徒歩で周遊できる有形・無形の文化遺産ルートの構築手法**も検討中。

＜一言コメント＞

**コロナ禍における観光の在り方**は興味深く、自治体ごとに対応が異なることもあり、要注目。

### 福井 弘幸（フクイ ヒロユキ） コロナ禍で揺れる五輪効果も研究



- ①経済学部 経済学科
- ②准教授
- ③修士（都市ビジネス）
- ④観光学／観光ビジネス、インバウンド、スポーツツーリズム
- ⑤大阪市立大学大学院修了

**with/afterコロナの観光のあり方**を探究している。また、世界的にオリンピック開催の負の影響を懸念し、開催地に立候補する都市が減少している中、**東京開催に続き札幌市（2030年冬季）が開催地に立候補する**という、その効果や課題について研究中。

＜一言コメント＞

**with/afterコロナの新たな観光ビジネスのスキーム**を探っています。

### 小山 大介（コヤマ ダイスケ） 企業動向から貿易問題まで語れる若手経済学者



- ①経済学部 経済学科
- ②准教授
- ③博士（経済学）
- ④国際経済学／**多国籍企業**、グローバル経済、**企業の海外進出**
- ⑤京都大学大学院修了

経済のグローバル化により、さらに複雑になった**日本企業の海外事業展開**や、**多国籍企業の動向**をウオッチ。また政治・外交の影響を受ける**日米、日中貿易問題**なども継続的に探究中。

＜一言コメント＞

グローバル時代、ポスト・コロナ時代における地域経済の持続的発展の可能性を探っています。

## キャリアデザイン・サブカルチャー

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 乾 明紀（イヌイ アキノリ） より有効なキャリアデザイン支援を考える



- ①経済学部 経済学科
- ②准教授
- ③修士（人間科学）
- ④社会心理学／探究学習、キャリア教育、トランジション
- ⑤立命館大学大学院修了

社会の「当たり前」が揺らぎ、若者にこれまでなかった選択肢や機会が与えられる一方で、＜学校から仕事へ＞＜子どもから大人へ＞の移行が複雑になっている。その移行支援策である探究学習やキャリア教育について実践的・実証的に研究している。

<一言コメント>

教員が一方向的に知識を伝える伝統的な教育スタイルだけでは探究学習やキャリア教育は成立しません。学習者自身が環境を変え、自ら将来を展望していけるようなキャリアデザイン法を研究しています。

### 牧 和生（マキ カズオ） サブカルチャーやオタク文化における経済学的な研究



- ①経済学部 経済学科
- ②准教授
- ③博士（経済学）
- ④行動経済学、現代アニメ文化論／サブカルチャー、日常系アニメ
- ⑤青山学院大学大学院修了

サブカルチャーの中でも比較的新しいアニメコンテンツ消費やコンテンツツーリズムなどを中心に研究。同じコンテンツのファン同士が対立する現象も消費の心理面からアプローチしている。

<一言コメント>

男女問わずオタクと呼ばれる人の消費やこだわりについて理解しています。趣味として消費している財やサービスなども魅力的な研究対象となります。

## 経営・企業・都市

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 松石 泰彦（マツイシ ヤスヒコ） 社会課題に向き合う企業の姿を追う



- ①経営学部 経営学科（経営学部長）
- ②教授
- ③博士（社会学）
- ④経営史、企業論／CSR、SDGs、企業城下町史、企業と社会課題解決
- ⑤一橋大学大学院修了  
 中小企業が町や地域に影響を与えてきた**企業城下町史**を通じて、**企業と社会のつながり**を研究。また**SDGsに対応するサステナブルな企業の戦略事例**も追究。

<一言コメント>

ビジネスと社会課題解決を両立できる新しいCSRの姿を検証・追究しています。

### 平尾 毅（ヒラオ タカシ） イノベーション研究で組織改革の糸口を



- ①経営学部 経営学科
- ②教授
- ③博士（商学）
- ④経営史、イノベーション論／組織、制度変化、アントレプレナーシップ
- ⑤一橋大学大学院修了  
 イノベーションの**成立過程**を歴史的に研究。人々の間で**共通認識**として**社会的現実がつくられるプロセス**の考察を通じて、**クリエイティビティの向上**や**ビジネス課題解決**のきっかけを目指す。

<一言コメント>

イノベーション・プロセスは、各国制度のダイバーシティをより深く理解するのに役立ちます。



## マネジメント・アントレプレナーシップ

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 仙波 亮一（センバ リョウイチ） 非建設的行動の低減に有効なサポートを研究



- ①経営学部 経営学科
- ②准教授（社労保険労務士、行政書士、シニア産業カウンセラー）
- ③博士（マネジメント）
- ④経営学、組織行動論／ハラスメント、対人関係からの撤退、自己愛
- ⑤広島大学大学院修了

**ハラスメントや対人関係からの撤退に代表される従業員の非建設的行動について予防的観点から研究。また最近では、アンガーマネジメントプログラムの有効性についても研究している。**

<一言コメント>

**従業員それぞれの自己愛タイプに合致した教育・指導法を探索。ストレスの多い現代社会の課題の解決を目指しています。**

### 丸山 一芳（マルヤマ カズヨシ） 地域産業活性化で期待されるオープンファクトリーに注目



- ①経営学部 経営学科
- ②准教授
- ③博士（知識科学）
- ④経営学、ベンチャー企業論、イノベーション論／イノベーション、伝統産業、起業家
- ⑤北陸先端科学技術大学院大学修了

**人と組織的プロセスに着目して、アントレプレナーシップとイノベーションを研究。また中小企業が連携して取り組んでいる新たな地域活性化施策「オープンファクトリー」に注目し、全国で調査している。**

<一言コメント>

**起業支援実務や起業コンテスト審査の経験を踏まえて、ベンチャー企業について考察することができます。**



## 情報工学

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 東野 輝夫（ヒガシノ テルオ） 日本を代表するIoT推進の担い手



- ①工学部 情報工学科（工学部長）
- ②教授
- ③工学博士
- ④情報ネットワーク／モバイルコンピューティング、IoT、センシング
- ⑤大阪大学大学院修了  
スマホやモバイルを活用したヒト・モノの位置行動推定や状況把握技術、災害支援や交通、健康・医療関連ICTの研究を推進している。  
Society5.0社会に寄与する様々な課題解決に向けた技術開発に携わる。

## ＜一言コメント＞

日本学術会議会員や情報処理学会副会長を歴任し、**現在も文部科学省Society5.0実現化研究拠点支援事業「ライフデザイン・イノベーション研究拠点（大阪大学受託）」の研究開発課題責任者を兼務**しています。

## 吉浦 裕（ヨシウラ ヒロシ） デジタルの有益情報と危険回避の両立を目指して



- ①工学部 情報工学科
- ②教授
- ③博士（理学）
- ④情報セキュリティ／プライバシー保護、個人情報保護、ビッグデータ
- ⑤東京大学卒業  
**SNSや移動履歴データから個人属性を推計し、有益情報を抽出する研究を行っている。一方で個人の特定やプライバシー侵害の警鐘を鳴らすための研究も行っている。**

## ＜一言コメント＞

ビッグデータは有益情報を抽出できる一方で個人情報に関する危険性もあります。**ビッグデータの活用と個人情報保護の両立を可能にする技術開発を進めています。**

## 片岡 裕介（カタオカ ユウスケ） 地理的空間情報の可能性を探る



- ①工学部 情報工学科
- ②准教授
- ③博士（環境学）
- ④空間情報科学、都市解析／地理情報システム、危機事象の視覚化
- ⑤東京大学大学院修了  
**高齢化社会における都市環境のあり方などを、空間情報を活用して探求中。高齢化とコロナ禍による人々の行動変化に直面する社会で、空間情報の重要性はさらに高まる。**

## ＜一言コメント＞

位置や場所を示す**地理的空間情報**を用いることで、都市計画から医療まで多岐にわたる分野で社会課題の解決につなげていきます。

## 情報工学

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

### 加藤 諒（カトウ リョウ） **ビッグデータを活用し、“便利さ”を創るための基礎**



- ①工学部 情報工学科
- ②専任講師
- ③博士（情報学）
- ④Web情報学／データマイニング、知覚情報処理、画像処理
- ⑤関西大学大学院修了

**SNSユーザーの行動・属性分析、構造物の維持管理、ARアプリなど、データマイニングを応用する技術は幅広く、来るべきSociety5.0時代に必須な重要テーマを専門としている。**

＜一言コメント＞

世に氾濫する膨大なデータから役立つものをいかに収集・整理・分析するかは、超スマート社会において大変重要な役割を担っています。

## 建築

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

鈴木 克彦（スズキ カツヒコ） **社会問題化する住環境の研究、社会活動**



- ①工学部 建築デザイン学科
- ②教授（一級建築士、インテリアプランナー）
- ③工学博士
- ④住環境計画／**持続可能な住環境、団地再生、空き家活用、コミュニティ再生**
- ⑤大阪大学大学院修了  
**社会問題化している空き家や高齢者の団地の再生・利活用、郊外住宅地のコミュニティ再生に尽力。また分譲マンションの管理不全化防止対策について学際的に取り組んでいる。**

＜一言コメント＞

誰にも身近な住環境問題は、**景観・環境・経済・コミュニティ・文化**など多様な側面と関連があります。その多面性を大事にしながら研究と社会活動を進めています。

松本 正富（マツモト マサトミ） **人にやさしい住宅のデザイン・居住環境**



- ①工学部 建築デザイン学科
- ②教授（一級建築士、インテリアコーディネーター）
- ③博士（工学）
- ④建築計画、建築デザイン／住宅設計、高齢者居住、ユニバーサルデザイン
- ⑤千葉大学大学院修了  
**住宅設計の分野で多くの実績を有し、特に現代住宅のデザイン、高齢者の居住環境、公営住宅の在り方について研究を進めている。**

＜一言コメント＞

**建築や居住環境は、工学的側面だけでなく、文化的、美学的な要素など多方面の考察も求められる奥が深い世界です。**

## 看護

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 川村 晃右（カワムラ コウスケ） 加熱式タバコの影響を研究



- ①看護学部 看護学科
- ②専任講師（看護師、保健師、公認心理師）
- ③博士（保健看護学）
- ④精神看護学、衛生学／加熱式タバコの影響、ニコチン依存
- ⑤和歌山県立医科大学大学院修了

社会的に定着してきている加熱式タバコであるが、紙巻タバコから移行した場合の健康への影響についてを検証した報告はほとんどない。加熱式タバコを含む受動喫煙対策に関する研究を急務として探究している。

<一言コメント>

改正健康増進法により、多数の者が利用する施設のほとんどが禁煙となりました。望まない受動喫煙防止を図るための研究を進めています。

## 心理

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 濱田 智崇（ハマダ トモタカ） 日本初の男性のための電話相談開設



- ①健康科学部 心理学科
- ②准教授
- ③修士（文学）
- ④臨床心理学／男性の生きづらさ、男性の介護・ジェンダー、DV
- ⑤甲南大学大学院修了

日本で初めて、男性による男性のための電話相談室を開設し、25年にわたって男性の心理的支援活動を実施。現代社会における男性の生きづらさの軽減をめざして研究・実践を行っている。

編著書に「男性は何をどう悩むのか―男性専用相談窓口から見る心理と支援」（2018年 ミネルヴァ書房）。

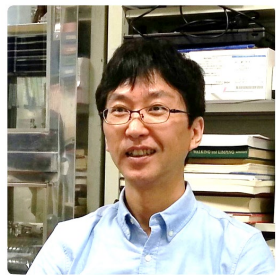
<一言コメント>

男性のジェンダーに着目した研究や実践は、あまり例が多くない中、男性の結婚・子育て・介護など様々なテーマでコメントすることができます。

## 理学療法

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 崎田 正博（サキタ マサヒロ） 毛細血管研究で健康長寿に貢献



①健康科学部 理学療法学科（理学療法教育研修センター長）

②教授（理学療法士）

③博士（人間環境学）

④神経科学／加齢・老化、フレイル、アンチエイジング、毛細血管退行

⑤九州大学大学院修了

神経や筋肉、毛細血管の老化に伴う委縮・変性について研究しており、その結果、**神経線維、筋肉繊維の前に毛細血管の衰えが先行すること**を明らかにした。このメカニズムをさらに研究することで、健康寿命の延伸を企図している。

<一言コメント>

研究をさらに進めて**神経や筋肉の老化を抑制できれば、さらに健康長寿化に貢献できる**と思います。

## 兒玉 隆之（コダマ タカユキ） 脳波研究から“こころとからだ”を解明する



①健康科学部 理学療法学科

②教授（理学療法士）

③博士（医学）

④リハビリテーション科学／脳波、脳認知機能、脳卒中

⑤久留米大学大学院修了

20年以上にわたって脳波を研究。脳卒中や脳の外傷患者向けの「**脳機能の再編成**」を目指し、**治療ツール開発や臨床研究**も行っている。また**高齢者の認知機能をカンタンにチェックできるアプリも開発中**。

<一言コメント>

**入眠や覚醒**に関する研究、**匂いや触感**に対する情動研究など、**企業との共同研究（応用脳科学）事例も豊富**です。

## 中野 英樹（ナカノ ヒデキ） 健康長寿社会の実現に資する最先端の脳機能研究を展開



①健康科学部 理学療法学科

②准教授（理学療法士）

③博士（健康科学）

④脳科学、神経科学／ニューロリハビリテーション、脳機能、運動制御

⑤畿央大学大学院修了

学部・大学院・海外研究機関にてヒトの脳機能研究に従事。脳科学・神経科学の知見を基盤として、運動・認知・精神心理機能に関わる**脳神経活動を可視化・操作し、高齢者や脳卒中者、認知症者の健康増進**を目指している。

<一言コメント>

脳機能計測法や脳神経操作法を用いて、健康長寿社会の実現に資する**最先端の脳機能研究**を世界に向けて発信していきます。

## 作業療法

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 川崎 一平（カワサキ イッペイ） 新しい地域共生の形を模索



- ①健康科学部 作業療法学科
- ②助教
- ③修士（国際協力学）
- ④地域リハビリテーション／異世代ホームシェア、多世代交流
- ⑤東京大学大学院修了

誰もが暮らしやすい共生社会を実現できれば、**高齢者の社会的孤立、若者の貧困による就学困難**といった社会問題の解決につながる。そのために現在「異世代ホームシェア」の研究に注力。“次世代型下宿”とも呼ばれ、**多世代がWin-Winとなる新しい地域共生の形**として注目される。

＜一言コメント＞

日本初の官民一体型異世代ホームシェア事業「京都ソリデール」に注目しています。



## 救急医学

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 西本 泰久（ニシモト ヤスヒサ） 人の移動と安全を考える「旅行医学」の第一人者



- ①健康科学部 救急救命学科
- ②教授（医師）
- ③博士（医学）
- ④救急蘇生、救急医学、心臓血管外科／旅行医学、熱中症予防、感染予防
- ⑤大阪医科大学卒業

一貫して心臓血管外科、**救急医学**に携わる。特に循環器救急、心肺蘇生などに精通。現在は救護救急学会理事などを務めている。  
「人の移動の安全と快適性を高める」**新しい応用医学である「旅行医学」**に造詣が深い。

## ＜一言コメント＞

現在、**コロナ関連（ワクチン接種）**や**熱中症**をテーマにした講演を医療従事者向けに多数行っています。ワクチン接種の効果や注意点、アナフィラキシーショックへの対応など、多くの人に役立つようお伝えしています。

## 平出 敦（ヒライデ アツシ） 救急救命の最前線で長年にわたって活躍



- ①健康科学部 救急救命学科
- ②教授（医師）
- ③博士（医学）
- ④救急医学、医療社会学／高齢者の熱中症ケア、地域医療
- ⑤大阪大学卒業

**医療機関のER（救急外来の初期治療）などの第一線で長く救急医療**に携わってきて、病院外心停止、現場経験に基づいた高齢者の潜在的な栄養障害、**熱中症ケア**などに精通している。一方で**救急医を育てる医学教育**にも取り組んでおり、地域医療従事者をサポートするNPOも2019年設立。

## ＜一言コメント＞

ウイルス感染拡大にともない、地域で実技演習を中心とした**感染防護講習**や**ワクチン接種支援**を進めています。

## 臨床検査

①所属 ②職名 ③学位 ④専門／研究キーワード ⑤プロフィール

## 藤原 麻有（フジワラ マユ） 身近な薬剤耐性菌を解析



- ①健康科学部 臨床検査学科
- ②助教（臨床検査技師）
- ③博士（保健学）
- ④微生物検査学、細菌学／**薬剤耐性菌**、ワンヘルス、選択培地
- ⑤神戸大学大学院修了

世界中で問題になっている**薬剤耐性菌（薬が効かない菌）**が、最近では**身近な生活環境からも検出**され始めている。菌の解析・調査から、誰もがアクセスできる身近な環境にどのようなリスクがあるのか、その要因を探り、解決につなげようと研究を進めている。

＜一言コメント＞

**日常生活のすぐそばに潜んでいるリスク**を調べ、薬剤耐性菌への対応に役立てたいと思います。

# 京都橘大学

<https://www.tachibana-u.ac.jp/>

## ■お問い合わせ先

広報課

TEL : 075-574-4112(直通)

Eメール : [pub@tachibana-u.ac.jp](mailto:pub@tachibana-u.ac.jp)

本学教員の情報はホームページでもご覧いただけます。

<https://kenkyu.tachibana-u.ac.jp/ktuhp/KgApp>

